

# クエスト通信

天童三中総合学習担当発行

令和6年3月4日

## 「クエストカップ2024 全国大会」

2/24(土)、5年ぶりのリアル会場(明治大学中野キャンパス)での開催。

今年度「クエストエデュケーション」に取り組んだ中高生は、36都道府県、410校、約8万5000人。そのうちエントリーまで到達したチームは、6,099チーム。(本校は、2年生の全チームがエントリー)そして、厳正な審査を突破した167校の305チームが日本全国から最終発表の場集った。(本校はオンラインでの参加になりましたが、近隣では中山中学校1チーム【キモノハーツ】がリアルで参加。中山町の町長さんも現地に応援に駆けつけたと聞きました。

### チーム「シャイニング☆スター」 最高のプレゼンテーション!!

大和ハウス部門、全国選抜10チームのうち、本校のみオンラインでの参加というハンデはあったものの、本番は、今まで一番の出来のプレゼンテーションを行いました。

予選でチーム「シャイニング☆スター」は、大和ハウスの出場チームの中で唯一「爆発」を切り口に考えてくれた企画が逸脱で、他の出場チームにとっても、すごく刺激的になる発表だからこそ、大和ハウスの審査員の方々が満場一致で推して全国大会出場が決まったそうです。

本番のプレゼンテーションについては、チーム(齋藤有花、結城颯太、眞山星晴、兼田璃音、菅原芽依)の熱量が伝わり、一番心を打たれたという大和ハウスのオブザーバーから嬉しい評価を得ました。惜しくも翌日の2ndステージには進出できませんでしたが、全国大会出場チームとして相応しいプレゼンテーションでした。

#### 【出場メンバーの感想】

- ◆私は朝から緊張や不安、責任を感じたりなど、とても怖かったです。結果に私はあまり納得できません。しかし、それぐらい自分たちで考えてきた企画が好きになったのだと思いました。この貴重な経験を何かに生かし、これからもたくさん自分らしく、いたいなと思いました。(大会テーマ：@じぶん)
- ◆悔しかった。自分たちの発表は、最高で完璧だった。
- ◆残念な結果だったが、埼玉栄高校のチームの人たちと交流して有益な情報が得られた。(参加校同士が交流する時間があり、お互いの発表について、質問や感想などを述べ合った。)

☆当日の録画データは、3月11日頃をめぐりに公開予定です。企業からのミッションをどう解釈し、どんな企画を考えプレゼンテーションしたか、是非見て下さい。クエストカップ2024全国大会公式ホームページをご覧ください。(右のQRコード)

